

令和5年12月発行（毎月1日発行）No.215





温暖な気候と鬼怒川、田川、姿川の豊かな水の恵みを受けた肥沃な平野が広がる私たちの下野市は、自然災害が少なく、古来より連続と歴史が紡がれてきたまちです。この自然に恵まれた本市域には、今では希少となった平地林や美しい田園とともに多くの歴史文化遺産が継承されてきました。

近年、新たな技術革新により、私たちの生活の利便性は高まりましたが、その反面、世界各地で地球温暖化が進み、日本国内でも猛暑、台風、集中豪雨、洪水など、異常気象による甚大な被害が近年各地で発生しています。自然災害が少ない本市においても、令和元年東日本台風により甚大な被害が発生し、市民生活に大きな影響を受けました。

これらの災害を最小限にし、人々が快適に生活できるこの環境を次世代に引き継ぐため、これまで以上に環境問題を重視し、危機意識を持つことで地球温暖化対策の更なる推進、脱炭素に向けた取り組みが必要です。

そこで、本市は「豊かな自然と共生し、安心・安全に暮らせる持続可能な環境のまち しもつけ」を目標に市民・市民団体・事業者・市が一丸となり2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「下野市ゼロカーボンシティ」に取り組みすることを宣言します。

令和5年10月29日
下野市長 坂村哲也



下野市ゼロカーボンシティ宣言・ごみ減量化ポスターコンテスト表彰式